



九月の計画

堀合 文子

日々幼児を迎える私共幼児教育者は、計画を持つてのぞむ。計画なくして迎える事は、あまりにも無責任であり、一刻とももどらぬ幼児の日々に対して申訳がない。

その計画は常に幼児中心であり、幼児の生活をゆたかにするものであり、又幼児の発育成長過程に適切であり且つ助成するものではなくてはならない。

幼稚園で、幼児は常に活動している。その生活活動の中に私共の計画は流されてゆく。ある時は計画がそのままスムーズに運ばれる事がある。ある時は、全然こちらの計画は運ばれず、違つた活動が

九月の保育

幼稚園……堀合 文子
保育所……鈴木 とく

活躍する時がある。そこに私共幼児教育者の苦勞する所であり又手腕のみせどころでもあるのである。

そのために私共はその計画を慎重に、年令、環境、生活態度、生活能力等の観点より考慮して立案すべきで、他人の案がそのまま自分の幼稚園へ、自分の組の幼児にあの幼児にと適するものではない。ある時は、自分達の計画を捨て、幼児達の中より、もり上る興味をとりあげて発展させてゆく手腕も必要なのである。

ここにあげた案は、一例であり、その場その場においての御参考になれば幸で、前述の通り、計画は勿論大切だが、あくまで幼児の生活中心、活動中心の幼児教育にとり入れられる案である事を希望する。

年少組	主 題
年 長 組	<p>○夏休み(一週) たのしかつたお休みの事を話合つたりして経験の再認をする。</p> <p>○虫 虫について、虫取りにいつたり、虫籠つくつたりして秋のよい季節に園外保育の一として取上る。</p> <p>○お月見 天体への観心をもたせると共に行事、昔からのならわし興味をもたせ製作で作物等つくりたのしむ。</p> <p>○おまつり 社会観察として興味をもたせ幼児としての活動、遊びとして楽しくあそばせる。</p> <p>○遠 足</p>
自然 観察	<p>○虫、 こおろぎ、ばつた、かまきり等幼児にしたしみある虫と一緒に虫取りにいつたり、保育室に飼育したり、話合つたり、虫かごの製作について観察する。</p> <p>○朝 顔 竹につるがまいた様子や、朝早くひらいて、つばむのが</p>
自然 観察	<p>○夏休み 年少の時よりもやくわしく、なかぬ虫、虫の種類等話合い、年少の時のよう虫取りにゆき採集して来て、飼育したり写生したり製作したりして細くかんさつする。</p> <p>○朝 顔</p> <p>○虫 秋の野菜、果物の味惑の時に観察しつつ、社会見学の一つとして十月へかけて、はじめる。この週は相談の程度。</p> <p>○八百屋</p> <p>○おまつり</p> <p>○お月見</p> <p>○虫</p>

比較的早い等観察する。

○お月様

お月見の行事を利用してお月見の少し前からお月様のま
るくなる様子等、夜、家でみて話合お月見のお話や製
作でお供物等つくつてお月見をたのしむ。

○おまつり

皆で氏神様におまいりしたりして、おまつりの御神輿等
町のおまつりの様子を話合。製作でも幼稚園の神輿を
つくつたり花笠つくつたりしておまつりごっこして遊
ぶ。

○秋分

これからだん／＼すどしくなり寒くなる事、昔からお墓
参りにゆく等話す。

○秋の七草

近くに原つばがあれば行つて七草をさがしてもよい。又
保育室に出来るだけ種類をあつめて飾り、話合つたりし
て秋さく花をみる。

○秋のたねまき

共同の島か、植木鉢に、たねを一緒にまいてその発育を
観察する。

○コスモス

保育室に飾つたり、咲いているのがみられる所はみにい

庭に咲いたのを写生したり、花で色水をつくつたり、今
日はいくつ咲いた等数も数えたりして観察する。

○お月見

お月見の日がわかつたらお月様の形等を黒板に共に記録
したり、供物を一緒に考えて作つたり、年少時の経験を
思出したりして、お月見の行事をたのしむ。

○おまつり

年少時の様に氏神様におまいりにいって、その社会の空
気を見学し、自分達の神輿をつくつたり花笠をつくつた
りして、幼稚園でのおまつりをする。地方により種々そ
の方法もちがう所に環境による相違がありおもしろい。

○秋分

この頃の気候を考えてみたりして秋分は、昼夜等しくな
る事、これからの季節の変化等話合、夏から秋への
季節の変化をしらせる。

○秋の七草

実際咲いている所がみられれば一番よいが出来ない時は
保育室に飾り写生したり、名前を話合つたりして秋の花
の美しさを味う。

○秋のたねまき

秋まいて、春咲く花等話合つたり共同の所に種まいて、
発芽、発育の状態を観察する。

つたりして葉の特徴等よく観察する。

お話	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みの話合い ○虫の洋服屋さん ○月の井戸 ○十五夜お月様 ○兎さんのお母さんの病氣 ○秋分の話 ○紙芝居 <ul style="list-style-type: none"> 十五夜のお山 お猿のラツバ ○幻燈 <ul style="list-style-type: none"> こおろぎと蟻 動物の親子 	製作 お画 かき 切紙
	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みの話合い ○こおろぎと蟻 ○月の兎 ○お月様の話(アンデルセン) ○秋分についての話合い ○紙芝居 <ul style="list-style-type: none"> かぐや姫 三匹の仔豚 ○幻燈 <ul style="list-style-type: none"> きれいなからだ 九官鳥の九助 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みのしかつた事のお画かき ○お月様のお供物づくり <p>籠は紙に印刷なり製図しておき色は好きにぬらせる。その中に入れるお供物は各自好きなものを紙だけ与えてつ</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○コスモス ○芙蓉 <p>やわらかい葉、花の美しさを共に味い写生したり、切紙でしてみたり、花びら等数えたりしてよく観察する。</p> <p>花も葉も大きい、この花の特徴をよくみて、かける人はかいたり、切紙したりする。めしべもはつきりしているから虫類との関係もしらせるのによい花である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みの思出のお画かき <p>この画いたものを飾つたり、又、夏休みにして来たものがあつたり採集物とかお画かきを飾つて小さい展覽会をしてもおもしろい。</p>	

○花笠つくり
くらし自分でのせる。そこにいろ／＼工夫させてみる。

笠の台をつくりその上に切紙で種々好きに切った花をつまんでつけて、立体的な感を出してみる。紐はつけてあげる。

○九月のお画かき

毎月一枚かいて保存しておきその発達状態の記録とする。

○切紙(自由)

○えのぐのお画かき(自由)

○指絵

○粘土(自由)(お月様のおだんご)

○虫籠つくり

紙を与えて自由に、虫の入れられる様に工夫して作らせても、又、ヒントを一つ与えてそれをつくらせても何れもよい。出来上つたものを持つて、虫取りに出かける。

○お月様のお供物つくり

紙を大小、と与えて大きい方で自分達好きなお供物のせる籠を考えさせる。小さい方でそこへのせるお供物をつくらせる。年長組だから年少の時したのを思出したり又自分達種々工夫してみるとおもしろい。出来たものは立派でなくともこの様な簡単なものは自分で考えて作ったよるこびを味わせた。

○花笠作り

台を作り、その上にのせる花は製図して、ぬつて切り、その上にのせさせる。

○九月のお画かき

○お月見のお画かき

お月見をすませて後その様子をかゝせる。

○切紙自由

○えのぐのお画かき(自由)

○粘土(自由)

鑑賞	楽器
<p>○白鳥</p> <p>○かつこうワルツ</p> <p>皆が両方とも使用出来るように特種の人のみ、つかえるのでないよう</p>	<p>音楽</p> <p>リズム</p> <p>○貝拾い</p> <p>○水鉄砲</p> <p>以上は夏休みの思出を楽しむ為になりくりかえし遊んでみる。</p> <p>○リズム感の復習</p> <p>וְנִתְחַלְחַל</p> <p>○ボンボコ狸 (音楽・リズム)</p> <p>○かわい小鬼 (音楽・リズム)</p> <p>○おまつり (音楽・リズム)</p> <p>○何をつくろう (リズム)</p> <p>○まつぼつくり (音楽・リズム)</p>
<p>○森のかじ屋</p> <p>○星の踊</p> <p>○こおろぎの踊</p> <p>○ハンドカスタ・タンバリン・トライアングルの三種類の使用をおさらいする (年少と同じ注意)</p>	<p>○波とび</p> <p>○山登り</p> <p>夏休みの思ひ出のため</p> <p>○リズム感の復習</p> <p>וְנִתְחַלְחַל</p> <p>וְנִתְחַלְחַל</p> <p>○虫取あそび (リズム)</p> <p>○虫の合唱 (音楽)</p> <p>虫の鳴聲をドとソに分けて、歌つてみる</p> <p>○もしもし亀よ (音楽・リズム)</p> <p>○ひよこ (音楽・リズム)</p> <p>○うさぎ (音楽・リズム)</p> <p>○おまつり (音楽・リズム)</p>

<p>健康の習慣</p>	<p>聞きながら拍手する程度。静かに聞くとゆう態度をやしなう。</p>
<p>よき習慣</p>	<p>第一期に約束した日常の約束をもう一度一緒に考えて実行を再約束する。</p> <p>○九月の身長・体重の測定 夏休み前との比較をしてみる。</p> <p>○よい季節になるのであるべく戸外で遊ぶ様にする。</p> <p>○朝晩が冷えて来るので衣服の調節に気をつける。夜は腹巻をしてねる約束をする。 あつくなつたら、ぬがしてもらつたり自分でぬげるものはぬぐようにする。</p> <p>○虫取りにゆく時等は帽子をかぶつてゆく。</p> <p>○食物にすぎ、きらいを言わぬようにする。</p>
<p>よき習慣</p>	<p>○第一期約束した日常の習慣を夏休みでくすれていたのを話合つて、約束しなおす。</p> <p>○帰宅前に一日の反省をしてみる。</p> <p>○おべんとうのお当番をはじめめる。</p> <p>机をふいたり、お盆くばり等先生の手伝ひをする。</p> <p>○先生に遊んでいたゞくのでなく、自分達で、</p>
<p>聞きながら拍手してみたり、勝手に表現させてもおもしろい。</p>	<p>年少と同じ</p> <p>○第一期の自治的生活に早くもどすよう、今度も一日の当番をきめて、一日の責任をもたせる。</p> <p>○帰宅前の一日の反省をする。</p> <p>○自分の事、自分達の事は自分達で解決するように。</p>

<p>友達同志仲よく遊べるようにする。</p>	<p>行事</p> <p>○第二期はじめの集り</p> <p>○お月見</p> <p>○秋分</p> <p>○九月のお誕生会</p>
<p>（一つ一つ先生の判断をまたず先生は第三者としてなるべく自分ですべて解決させるよう誘導してゆく）</p> <p>○友達との間のゆすり合い。</p> <p>二ヶ月位家庭での生活でこの事もくずれたとおもうから 団体生活への復帰の意味で改めて又取上げておく。</p>	<p>年少と同じ</p>

○九月計畫の注意

夏休みを終えて、凡そ二ヶ月間の家庭生活から団体生活への転遷の月でもあるので、年少組は特に、幼稚園の生活に早くもどる様努力する事が第一で、よき習慣は、再認しつつ約束を履行してよき習慣にもどさねばなりません。季節もよい時期となるので、種々の具体的計画の実行とゆうより、大いに幼児の生活を満足させ、一日も早くよき幼稚園児に、よき団体生活へ引入れる月でありましょう。

〔筆者 お茶の水女子大学幼稚園教諭〕